

副詞「なかなか」の意味・用法

一日・韓の翻訳書を用いて一

丁 允英

1. はじめに

「なかなか」という副詞は、次の例1), 例2)のように肯定表現とも否定表現とも共起する。例1)のように肯定表現と共起する程度副詞用法と「なかなか～ない」のように否定表現と共起する陳述副詞用法と、その極性の違いによって異なる意味・用法を持つ。

1) 二人はなかなか仲がいい。

(森田1989: 838)¹

2) この事件のなぞはなかなか解けない。

(飛田・浅田1994: 382)

「なかなか」には、「話し手の心の内で対象とする事物に何等かの評価を行い、判定を下す(森田2006: 31)」こともあり、辞書的な解説では表し得ない話者の主観がプラスされているのである。特に、評価性というのは、形には現れないので、辞書の意味記述でも見過ごされがちなことであるが、副詞の意味機能を考える際、非常に重要である。例3)は、素敵さを「なかなか」が強調し、プラス評価の判定を下しているが、例4)は、「なかなか」が含む評価性と矛盾する用い方をしたために不自然となっている。

3) なかなか髪が長くて素敵だ。

(森田2006: 32)

4) *なかなか髪が長くてうっとうしい。

(森田2006: 32)

水谷(1989)に、「なかなか」を子供が父親と同じように使った時、みんなが笑うのを聞いて、不思議に思う外国人のことが出ている。5)は父親が、奥さんが作ったケーキをほめている例である。6)は、5)の父親の発言を聞いた子供の発言である。例5)のようにプラス評価をするときの「なかなか」には、ほめることについての保留が含まれ、気どった感じになることがある。控えめな態度や気取った態度は、小さな子供には似合わず、このような微妙なニュアンスを子供が理解しているとは思えないことによる笑いである。

5) なかなかよくできたね。(永谷1989: 35)

6) なかなかおいしいね。(永谷1989: 35)

このように、「なかなか」は、言語に現れない複雑なニュアンスを伴い、話し手の意図しないニュアンスに解釈される場合もあるため、注意を要する副詞である。

そこで、本稿では微妙なニュアンスを伴う副詞「なかなか」を考察対象とし、その意味・用法を明らかにすることを目的とする。さらに、副詞「なかなか」と対応する韓国語副詞との対

照を行い、その類似点と相違点について明らかにする。

2. 研究方法

工藤 (1983)²、森山 (1985)、林 (1996) などは、いずれも「なかなか」を程度副詞としている。特に、林 (1996) では「なかなか」を、評価性を意味特性として持つ程度副詞としながら、比較の意味素性は持たず、量性意味特性をも持たないと指摘し、森山 (1985) の量的概念も内包する量的程度副詞とする見解と異なることを示している。浅野 (1984) では、「なかなか」は計りの目盛りに刻まれるような段階性を持つ程度の客観的な表現ではなく、「ずいぶん」と同様、主観性の濃い副詞で、「大体この程度であろう、この程度なら肯定できる」との個人的な予想を上回ったとき、それを評価して「なかなか」というと述べられている。渡辺 (1990) では、程度副詞には体系があるとされ、分類した程度副詞のなかで、「発見系・評価系」の「結構類」に「なかなか」が取り上げられている。³

次に、「なかなか」が否定と呼応することに注目して捉えている研究がある。川端 (1983) では、「なかなか」を陳述副詞としながら、量性の問題の内面化が著しく認められると述べている。工藤 (2000) では、「なかなか」を「認識的な叙法」のうち、否定と呼応するものとしている。

この他に、辞書的な意味記述として、森田 (1989) の「人・物・事柄などが示す状態に対し、その度合いが相当なものであると受け止める気持ちを表す。(p 837)」という記述と、飛田・浅田 (1994) の「程度が平均を上回っている様子を表す。物事の解決や目標達成に時間・

労力や能力などを必要とする様子を表す。(p 382 ~ 383)」という記述とがある。

以上の先行研究から、「なかなか」の意味・用法を明らかにするためには、「程度」、「予想」、「評価」、の三つの視点には欠かせないと思われる。本稿は、この三つの視点を取り入れ、副詞「なかなか」の意味・用法の分析を行い、「なかなか」と対応する韓国語の副詞の様相を調べ、意味・用法別の対応関係の分析・対照を行う。

なお、分析に用いる用例は、日本語の原典資料を韓国語に訳した小説、シナリオ (テレビドラマ・戯曲)、エッセイなどの日・韓翻訳本の資料から収集する。引用した資料に関しては、その一覧を本稿末尾に載せ、用例末尾には括弧内に略語で示す。引用した資料を示していないものは、筆者による作例である。

3. 考察

収集した用例は269例であり、その内訳は「なかなか」が述語として用いられている場合 (2例) と、「なかなかの～」の形で名詞にかかる修飾語として用いられる場合 (14例)、肯定表現を伴う場合 (92例) と、否定表現を伴う場合 (161例) である。

3.1 共起関係について

この節では、「なかなか」がどのような述語と共起関係をもつかについて見ていくことにする。

まず、動詞述語と共起するものから見ていこう。動詞述語との共起は157例が見られ、うち、62例が可能形であった。「なかなか」が動詞述語と共起する場合、事柄の可能性や実現、状態性を意味として持つ動詞を選ぶ。ゆえに、多く

の動詞述語は可能形あるいは「～ている」形に置き換えられる。例7)は、「しゃれる」に「～ている」がついて、状態を表している。また、8)は「実現する」が否定される例で、状態性述語と共起している。9)は、「腰をあげる」という行為の実現ができないことを、不可能形に状態を表す「～ていた」がついた形で表す例で、不可能も、不十分も程度性を有するもので、話し手が期待した程度に達しないことを意味する。「腰を上げる」という行為を実現することができないという気持ちを表す。

7) ミシキンさんはオランダ語を母語とするベルギー人。自称インテリ浮浪人の詩人である。といっても、陽気でじつに健康そうだし、服装もなかなかかしゃれている。

(翻訳家)

8) 「前から夢のオートメーション生活ちゃうて騒いでいたようだけど、なかなか実現しないんだなあ」 (台所)

9) 公園のことで頭を悩ませるより、自分が働きに出て、あかりを保育園に入れば、少なくとも公園ジブシーでいる今よりは友達もできるだろう、社交性も育つだろう。しかし小夜子はなかなか腰をあげられないでいた。 (対岸)

次に、形容(動)詞述語と共起する場合は、72例で程度性を有する語との共起を見せる。例10)は著しい程度を表すと同時に話し手の評価も含まれている。また、11)は「たくさんの人が就労する場所をつくる」ことの非実現性の程度が現れると同時に、実現することの難しさに対する話し手の態度も現れている。「なかなか」が否定表現を伴う形容詞述語との共起は2例見られたが、「悪い」という語のみであった。例

12)では、話し手の個人的な主観に基づいて見解を述べている。

10) 彼はそのステージの最後にショパンのプレリユードをきちんと弾いた。これはなかなか素晴らしい演奏だった。(ダンス)

11) 人口を減らさないためには、それだけの人が職業に就き、収入を得なければいけない。ところが沖縄県に、これだけの人が就労する場所をつくるのはなかなか難しい。

(東大講義録)

12) 部屋は牧村拓が言ったようになかなか悪くなかった。もちろん家具や内装デザインや壁の絵はシックという地点からは遠く遠く離れていたがそれでも不思議に居心地はよかったし(ハワイ諸島のいったい何処に人はシックなものを求め得るだろうか?)、ビーチからも近くて便利だった。(ダンス)

また、名詞述語と共起する用例もある。「なかなか」は、「の」を伴う連体修飾と、伴わない連体修飾が可能だが、⁴今回収集した用例では、前者は14例、後者は8例が見られた。13)は、「最高に達意の名文」ではないが、とする話し手の譲歩を表す。名詞のなかに有り様や属性・状態性を帯びているものもあるが、例14)の「インテリ」のように、名詞の意味に、度合いのある属性や状態性が認められれば修飾の対象となることから、非常に広い範囲の名詞と結び付くことが分かる。このように、「なかなか」が名詞述語と共起する場合、属性や状態性名詞との共起を見せる。

13) 便箋にびっちり八枚書きこまれたその手紙は、なかなか達意の名文だった。

(生きる)

14) また、女学校の歴史の先生藤界雄先生も言

われた。「あなたはなかなかインテリでね、恐ろしかったよ。だから指名などできなかった」
(生きる)

「の」を伴い「なかなかの」の形で用いられる場合は、例15)のように肯定的(望ましい)評価を含む「美人、やり手、腕前」などと共起関係を見せた。しかし、16)の「偏屈」のような語とも共起する例があった。「偏屈」という語は、「性質が素直でなく、ねじけていること。頑固なこと。また、そのさま(広辞苑)」を表し、肯定的評価とは言いがたい。

15) 四十七歳、バツイチ、子供ひとり。いつも黒っぽいパンツスーツを着て、髪を後ろでシニヨンに結っている。なかなかの美人で、まさに絵に描いたような働く女だ。
(肩越し)

16) 「もちろん、奴が何かの事件に関係しているとか、そういうことじゃないんだ。ちょっと説明するのは難しいんだけど、どうも湯川は俺に気を遣って、何か隠していることがある感じなんだ。君も知っていると思うけど、あの男はなかなかの偏屈だからね」
(容疑者X)

「なかなかの+名詞」について、森田(1989)では、名詞の中でも特色やカラーに当る要素が含まれている語と結び付くが、特色、カラー、癖などを含まぬ無色の名詞を続けると不自然になると指摘している。佐野(1997)では、生理現象や自然現象などのうち、人間が評価を与えられないものはやはり、「なかなかの」と組み合わせられないとしている。また、工藤真(1999)では、名詞に程度性がある場合は共起可能だとしている。これらの先行研究を参考に、本稿では「なかなか」と共起する名詞の性質を、話し

手の観点(評価)によって様々な程度の差を表し、或る面を取り立てて言う語であるとする。つまり、話し手の観点(評価)によって、他のものと比べたり、評価できる程度の領域を持つ語と考える。例16)は、話し手(俺)の観点により、湯川の偏屈さは、他人と比べて評価できる程度の領域を持ち、その素直でなくねじれている面を取り立てていると解釈できる。

17) *なかなかの都市 (森田1984:837)

18) なかなかの大都市 (森田1984:837)

19) ??なかなかの {太陽/地球/死/血}
(佐野1997:129)

「なかなか」が状態性の副詞と共起する場合も14例ある。状態性の副詞としては「よく、上手に、うまく」等の語が共起した。「なかなか」と共起する副詞は、状態性の意味をもつ副詞であり、「なかなか」はそれに前接して、その程度が最高のものではないがある程度の高さの程度をもつということを表す。この場合、動詞のみでは非文となる場合があるが、形容(動)詞や副詞が動詞と共に使われることによって、動詞が程度性を有するようになる。例20)は、「よくつくる」という期待はしていたが、「よく」と評価する程度が予想以上であったという意味になる。「よくつくる」と予想していたのであるから、プラス評価であり、そのプラスの程度が話し手の個人的な予想を超えていたという意味を表す。

20) 塩野七生さんの『ローマ人の物語』を読むと、通信(通信)制度、そして、道路、河川、橋、港湾などもローマ帝国はなかなかよくつくっている。(東大講義録)

その他に21)のように「なかなか」が述語になる場合が2例見られた。小池(1998)は、副

詞が一語文として用いられることの自然さについて述べているが、「あまり」に比べ、なかなか」は発話意図が明確に伝わらないことから不自然さが意識されるとする。すなわち、「あまり」はマイナスの評価性を前面に帯びているため、後続表現が省略されても何を言い表そうとするかが明らかになる。しかし、「なかなか」は中間的な意味を持つ副詞であるために、後続表現の省略は発話意図が明確には伝わらず曖昧になって不自然さが意識されるのだとする。

21) 久木と凛子がエキサイトして、ビリヤードに興じている。六十年代に青春を過ごした久木の腕前はなかなか。(失楽園)

3.2 「なかなか」の意味・用法

この節では、「なかなか」の意味・用法について、①ある事件・事態が起こる蓋然性を表すものと、②程度性や状態の完成度に関わるものに分けて見ていくことにする。

「なかなか」は、物事の質や量などの程度が予想を上回ると話し手が判断した場合に使い、程度の大きさに対する話し手の評価を表わす。例22)は、「たくさんの人が就労する場所をつくる」ことの非実現性の程度が現れると同時に、実現することの難しさに対する話し手の態度も現れている。例23)は、「日本が民主主義になる」のに困難をきたしている理由として、「国会議事堂の大臣の並ぶ席が議員席より高い」ことを示している。さらに話し手の実現を願うが実現への移行がすぐには難しいという気持ちも表れている。このように理由が文中に現れる場合は、理由を表す「て、から」などの表現と用いられる。例24)は、立派な叢書に入った状態では、新しい翻訳をするのが難しくなるこ

とを表し、条件表現「と」が共起している。例25)も、「日本、韓国、台湾以外では」という条件下での「戸籍」をつくることの難しさについて述べている。26a)の「～にくい」は接尾語的に使われていて、そうすることが難しいということを表す。話し手によって「困難」の程度が、予想を上回ると認識されている。この場合、26b)のように動詞の否定形と言い換えが可能である。

22) それで佐藤さんは「沖縄の人口を減らすな」といったわけです。人口を減らさないためには、それだけの人が職業に就き、収入を得なければいけない。ところが沖縄県に、これだけの人が就労する場所をつくるのはなかなか難しい。(東大講義録)

23) 大臣の並ぶ席は議員席よりもずっと高い。そこに座っていると、民の代表が政府のお偉方に御陳情申し上げます、という感じが強くして、国会議事堂がつくられた当時の思想が体現されているのを実感できます。こういうものをいつまでも使っているから日本はなかなか民主主義にならない、早く変えたらいいと思います。(東大講義録)

24) 列子や荘子もフランス語に翻訳されていて、すでにガリマール社のプレイヤード叢書に入っている。けれど、そういう立派な叢書に入ってしまうと、ほかの翻訳家が同じ著作になかなか手を出さなくなり、新しい翻訳が出にくくなる。(翻訳家)

25) 戸籍は、日本、韓国、台湾以外ではなかなかできない。中国もつくろうとしています。が、正確な戸籍はまだできていないようです。(東大講義録)

26a) 「先生。表面に出てこないガンてあるん

すか」「ええ。中に潜っているのがあります。なかなか見付けにくい上に、裏から他臓器に浸潤しやすいので危険です」

(柔らか)

26b)「先生。表面に出てこないガンであるんですか」「ええ。中に潜っているのがあります。なかなか見付からない上に、裏から他臓器に浸潤しやすいので危険です」

例27)は、「～てくれない」とともに用いられているが、その事態の実現を望むものの、実現していないという話し手の期待外れの気持ちをもっともよく現れている。「なかなか」も、「～てくれない」も、話し手にとって望ましくない状態を表す意味合いを持つ。次に、28)は、「(よ)うとしない」とともに用いられている例で、戻るという状態に変化しないことを表している。「(よ)うとしない」は、ある事柄が実現されず結果は変わらないことになるが、そこに至るまでの経過や結果に対する評価に大きな違いがあることを意味する。⁵「なかなか」は、ある事柄が実現されない状態から実現を願う意味を持ち、「なかなか」と「(よ)うとしない」のいずれも実現されないという共通の意味合いを持っているため、共起しているものと考えられる。

27)「そんなことをして、もし彼女が他人にしゃべったら大変ですからね。女というのは、なかなか秘密を守ってくれないものです」
(容疑者X)

28)「いや、試験よりも、この話の方が大事です」
などと言って、なかなか部屋にもどろろとしない。
(生きる)

また、話し手の予想や期待と実状とを比べ、予想・期待と現実との不一致や不整合の場合には、マイナス評価として働く。例29)は、過

去の状態について話し手が現在下した評価を表し、過去を表す「た」などと共起する。話し手の予想・期待と実状との程度が異なることを示すということは、「なかなか」が好ましい状態に対し、逆接を表す表現に後続していることから分かる。

29) 彩佳「小学校のとき、プール教室で、すぐに六級まであがったんだけど、なかなかそれ以上に上がれなかった。隣のエリちゃんだって一級なのに、どうしてあなたが上にあがれないのってお母さんに言われて、私、必死で息継ぎを練習して、一週間で一級になったんです。お母さんの喜ぶ顔を見て、すごく嬉しかった」
(花火)

以上より、「なかなか」の①の意味・用法を以下のようにまとめることができる。

①ある事件・事態が起こる蓋然性を表す。話し手の予想や期待と実状を比べ、話し手が願う事態・状況の実現・実行が容易でない場合を表す。その実現・実行に至るには何らかの困難を伴い、すぐにはそのような状態に達しないことを表す。実状と予想・期待との不一致や不整合の場合、マイナス評価として働く。

①の意味・用法は159例ほどで、否定表現を伴う場合が149例で否定表現を伴う「なかなか」の殆どがこれに当たる。肯定表現を伴う場合は、事態が起こる蓋然性が低く、実行が容易に行えないことを表す「難しい、大変」などの語と共起する。この場合、実行が容易に行えない理由が文中にあったり、また、条件表現と使われ、その条件のもとでは実現が困難であることを表す場合があった。

次は、程度性や状態の完成度に関わる「なか

なか」についてみよう。例30)は、「かっこ良さ」が話し手の想定以上、または予想を上回ったことを表す。例31)は、踊っている夫(杉山)の実力が予想以上に上手であることを表す。例30), 例31)は、格好良さ、上手さが格別であることを意味し、話し手が通常認識している格好良さ、上手さの性質の領域の中で、格別の性質をあげ、他と区別する用法である。例32)も話し手の通常認識している不幸の程度が、格別で予想を上回っていることを表す。例30), 例31)は予想・期待以上に良い場合で話し手の肯定的な評価に、例32)は話し手の予想以上に悪い場合で否定的評価を下している。

30) そう思って、改めて眺めると、背も高いし、筋肉質だし、目鼻立ちも整っているし、なかなかかっこいい男だ。(肩越し)

31) 舞は明らかに杉山と一緒に踊っていた。
千景：お父さん、すごいね。
しかし、昌子は娘の言葉に素直に同意して喜ぶことはできなかった。自分の知らないところで、夫はこんなにも生き生きとした表情を見せていたのだ。

平山：中々やりますね。(shall)

32) 昭夫 退職するよ。離婚もする。両方いっぺんに来たよ。なかなか不幸だろ？

福江 ……

昭夫 どうだい、見方によっちゃあ、俺の方が勝ってるって気いしない？ 母さんが俺の歳のとき、ここまで不幸だったかね？ (母さん)

以上、程度性や状態の完成度と関わる「なかなか」意味・用法②は、「ある事態の状態を含む程度性が普通以上であること、予想や期待を上回ることを表す。ある行為の結果としての状

態の完成度の高さに対する評価を表し、予想・期待以上にいい場合はプラス評価につながり、予想・期待以上に悪い場合はマイナス評価につながることを表し、程度が著しいことを表す。」とまとめることができる。②の意味・用法は107例ほどで、うち、肯定表現を伴う場合が80例見られた。

「なかなか」の意味・用法①と②はそれぞれ独立しているわけではなく、用法間に連続性がある。例えば、「予想通り願う事態・状況の成立が容易ではない」という①の用法と、②の「ある事態や状況の程度が、予想以上であることを評価すべき程度に高い」ということの間には通じるものがあるためである。⁶⁾

以上のほか、文脈により数量や頻度を表す場合についてみよう。例33), 例34)のように「ピンピンしているサバを食べること」、「踊ること」という一つの事柄を対象とする場合の「なかなか」は、その事柄が起こる頻度を表す。例35)の「余剰金」という一つのモノを対象とする場合、そのものが或る行為を行う度合い、数量を表している。

33) 「サバだってっだって、馬鹿にしないでください。父ちゃんがとってきたやつを、ぼくが港で待ちかまえていて、そのままここに持ってきたんだよ。旦那連は、すぐに平目とか何とかいうけどさ。こんなにピンピンしているやつは、司教様だって、なかなか食べられないや」 (イタリア)

34) 若い男：いや、まあ、踊れたらいいなどは
思いますが、中々チャンスがなく
くて。(shall)

35) 成長産業では従業員数の割に収入が多いから、余剰のお金ができます。伝統ある企業

では従業員がそれなりにいるから、なかなか余剰金がない。(東大講義録)

以上から、副詞「なかなか」は、ある状態の程度がどのくらいのものであるかを限定するだけでなく、その程度が話し手の予想や期待に達しているか否か、すなわち実状が話し手の願う程度であるかどうかを表すことができる。ある実状が「なかなか」によって表される場合、その程度に話し手が完全に満足しているわけではないが、或る程度満足のいくものであることが示される。

3.3 日・韓の翻訳書にみる副詞「なかなか」の現われ

3.3.1 共起関係について

本節では、「なかなか」に対応する、韓国語の副詞を取り上げ、両者の対照を試みる。日本語の原典資料を韓国語で訳した翻訳書に見られる副詞の対応関係を頻度順で〈表1〉にまとめ

た。⁷

〈表1〉から分かるように「なかなか」は、肯定表現を伴う場合、韓国語の副詞「꽤kkwae⁸」、「상당히sangdanghi⁹」との対応を見せ、「非対応¹⁰」も見られた。「非対応」とは、「副詞」が省略されているものと、「なかなか」と同じ役割を担う別の表現に訳したものを指す。否定表現を伴う場合の「なかなか」は、約53%が「좀처럼jomcheoleom¹¹」と訳されている。¹²また、否定表現を伴う場合、「非対応」の特徴として目立つのは、「여간해서(는) yeoganhaeseo(neun)」と訳される例が10例ほど見られたことである。「여간해서(는) yeoganhaeseo(neun)」は、形容詞「여간하다((並大抵のことでは…ない, ちょっとやそとでは…ない(朝鮮語辞典1993:1282))」が文中で用いられる場合は、「여간해서(는) yeoganhaeseo(neun)」の形をとる。形容詞「여간하다」が副詞化した「여간yeogan」も2例見られた。

〈表1〉日・韓の翻訳書に見られる副詞「なかなか」の対応様相(数字は用例数)

肯定表現を伴う場合(92)	否定表現を伴う場合(161)
꽤kkwae(17)	좀처럼 jomcheoleom/좀체(로) jomche(lo)(86)
非対応(16)	非対応(43)
상당히sangdanghi(15)	
아주aju(8)	
매우maeu(5)	잘jal(7)
여간yeogan(4)	
굉장히goengjanghi(3)/너무나neomu(na)(3)/무척mucheog(3)/제법jebeob(3)	그리geuri(2)/쉽게swipge(2)/아무래도amuraedo(2)/여간yeogan(12)/제대로jedaero(2)
씩sseog(2)/어지간히eojiganhi(2)/좀처럼jomcheoleom(2)	
거의geoui(1)/얼마나eolmana(1)/잘jal(1)/정말jeongmal(1)/참으로chameuro(1)/꽤peog(1)	꽤kkwae(1)/끝까지kkeutkkaaji(1)/빨리ppalli(1)/도무지domuji(1)/쉽사리swipsari(1)/어지간히eojiganhi(1)/좀jom(1)/참cham(1)

以下では、「여간 (해서 (는)) yeogan (haeseo (neun))」の形で取り上げることにする。

まず、肯定表現を伴う「なかなか」は、例37)のように、程度を表す動詞「いける」と共起し、対応する韓国語副詞は「꽤kkwae」で現れ、形容詞「맛있다 (美味しい)¹³⁾」と共起している。また、例38)のように状態性を帯びている動詞「しゃれている」と共起し、韓国語副詞「상당히sangdanghi」で現れ、動詞の状態や程度が平均以上、または、期待を上回っていることを表す。「꽤kkwae」は、『標準国語大辞典』(1999)によると「보통보다 조금 더한 정도로 (訳：普通よりやや上の程度)」を表し、『朝鮮語辞典』(1993:314)によると、「かなり、なかなか、ひょほど、ずいぶん、だいふ」を表す語である。「꽤kkwae」は、特別な基準がなく、話し手の心理的な態度によりその意味が左右される。「꽤kkwae」は、「たくさん、深く、よく、ひどく」などの量や質の意味合いを含んでいるため、主に形容詞述語と共起する。¹⁴⁾ 動詞述語とも共起可能であるが、制限が見られる。崔洪烈(1997)では、例39)の「꽤kkwae」が動詞「켜다 (つける)」と共起不可となるのは、「꽤kkwae」が量や質の意味合いを持つためであるとしている。

「상당히sangdanghi」は、『延世韓国語辞典』(1998)によると、「정도가 높든지 크게. 상당한 정도로 (訳：程度がかなり高い、程度がかなり大きい。相当な程度)」を表し、『朝鮮語辞典』(1993:1009)では、「相当に、かなり、だいふ、よほど」と述べられている。「상당히sangdanghi」は「대단한 정도에 가까운 (訳：最高に近い程度)」という意味を表し、ある一定の基準があるのではなく、話し手の心理的態

度によるもので、最高の質や量を表す語である。その他に、「なかなか」が対応している「아주aju, 매우maeu, 굉장히goengjanghi」などの語は、「꽤kkwae」と「상당히sangdanghi」で包括できる様々な表現に分化したことを表し、それぞれの対応表現は、共起する動詞の意味的属性によって変わる。いずれも「꽤kkwae」と「상당히sangdanghi」で置き換えることが可能である。40 a), 40 b), 40 c) は、各副詞の「賢さ」の程度性を表す例である。〈図1〉は、洪思満(2002)を参考に各副詞による「賢さ」の程度性を示したもので、「꽤kkwae」と「상당히sangdanghi」は、「좀 (少し)」よりは程度性が高く、「아주 (とても)」、「매우 (たいへん)」よりは低い程度性を持つ。

37) 夕食は、階下にあるレストランで摂る。きじやほろほう鳥の丸焼きはなかなかいける味で、ここで満足できるのは食事だけかなあ、と思った。¹⁵⁾ (イタリア)

평양이나 기니아 새 통구이 요리는 꽤 {아주, 매우, 굉장히} 맛있었기에,

38) ミシキンさんのケースはその典型だ。ミシキンさんはオランダ語を母語とするベルギー人。自称インテリ浮浪人の詩人である。といっても、陽気でじつに健康そうだし、服装もなかなかしゃれている。

(イタリア)

그래도 쾌활하고 아주 건강해 보이며 복장도 상당히 {아주, 매우, 굉장히} 세련 되었다.

39) *철수가 라디오를 꽤 켰다. (崔洪烈1997:68) (訳：チョルスがラジオをかなりつける)

40 a) 타로는 꽤/상당히 똑똑하다.



〈図1〉副詞による程度性

(訳：太郎はなかなか (かなり) 賢い)

40 b) 타로는 매우/아주 똑똑하다.

(訳：太郎はとても 賢い)

40 c) 타로는 좀 똑똑하다.

(訳：太郎はちょっと 賢い)

「非対応」の場合，例41) のように「副詞」が省略されているものと，例42) のように「なかなか」と同じ役割をする語に訳した場合がある。例42) では，「なかなか」に対応しているのは，「질질 끌며 (訳：ずるずる引き延ばして)」という表現で，予想に反してすぐには実現できないことを表す「なかなか」の役割を「질질 끌며」が担っている。

41) つぎの日にまた会うに決まっている友達にさよならをいうのは，いつだってなかなか 楽しいものだ。 (4 teen)

다음 날 다시 만날 친구에게 안녕, 하고 손을 흔드는 건, 언제나 ϕ 즐겁다.

42) もともとソ連陰謀説は第一事件の裁判が終わった後，九か月もたった八二年四月にアジャが事件の「真相を語りたい」と申し出たことから始まる。しかし，アジャはこの約束をなかなか 実行しなかった。語り出すのは，それから半年もたった一〇月末である。 (20世紀1)

그러나 아그카는 이 약속을 질질 끌며 실행하지 않았다.

「좀처럼jomcheoleom」は、『標準国語大辞典』(1999)，『延世韓国語辞典』(1998) などの

辞書においては，「主に否定の意味を表す語を伴이여간해서는」の意味を表し『朝鮮語辞典』(1993：1577) では，「≪否定の表現とともに用いられて≫なかなか…ない，めったに…ない」とされている。「좀처럼jomcheoleom」は，主に動詞否定形「안~/~지 않~」，不可能表現「못~/~지 못~」(例43) と共起し，話し手がある事態の発生する確率が低いと判断した場合に用いられ，事態が容易には話し手の意図や予想通り起きないことを表す。主に動詞述語との共起を見せる点では，「なかなか」は「좀처럼jomcheoleom」と類似している。「なかなか」には，頻度の意味はあまり無いが，例44) のように「좀처럼jomcheoleom」には「めったに…ない」という頻度の意味を含んでいる。そのため，形容詞「드물다 (まれだ)」(例45) との共起が目立つ。また，46 a) のように「좀처럼jomcheoleom」は話し手の否定的態度を表すため，一般的に良いとされる46 b) のような事態には用いにくいようである。

43) 明子「まだ。乙松さんなかなか 交替の手当がつかなくてね。なんとか最終には乗れるって」 (鉄道員)

아키편「아직… 오토마츠씨, 좀처럼 교대할 사람을 못 찾아서…어떻게 해서든 마지막 열차는 탈 수 있을 거래.」

44) 誰がかけてきたのか，とカスミは訝りながら受話器を取った。内海の家には滅多に電話などかかって来ない。 (柔らか)

우즈미의 집에는 좀처럼 전화 같은 게 걸려 오지 않는다.

- 45) 黒人の若い女にはめったにないことだけど、私が自殺するとでも思ったのかしら。

(アトランタ)

젊은 흑인 여자에게는 좀처럼 드문 일이지 만 내가 자살이라도 할 듯

- 46 a) 좀처럼 쉽지 않아. 訳：なかなか易しく ない (なかなか難しい)

- 46 b) *좀처럼 어렵지 않아. 訳：*なかなか 難しくない (なかなか簡単だ)

「여간(해서(는)) yeogan (haeseo (neun))」は、副詞「여간yeogan」と、形容詞「如干하다(並大抵のことでは…ない, ちょっとやそつとでは…ない)」が文中で用いられる場合は、「여간해서(는) yeoganhaeseo (neun)」の形である。¹⁶ 「여간yeogan」は『標準国語大辞典』(1999)と『延世韓国語辞典』(1998)では、「그 상태가 보통으로 보아 넘길 만한 것임을 나타내는 말. 어지간한 정도로, 웬만한 정도로(訳：主に否定の意味を表す語と共に用いられ, その状態が普通と見なせるという語。ほどよい程度で)」という意味を表すとしている。『朝鮮語辞典』(1993: 1282)でも、「≪否定の語とともに用いられて≫並大抵の(…ではない), ありきたりの(…ではない)」を表す。必ず否定表現を伴い否定極性を持つ語である。「なかなか」は否定表現と共に起し, 否定的意味を表すが, 「여간yeogan」の場合は, 否定表現と共に起し, 肯定的な意味を表す。47)は, 「なかなか」が不可能表現「できない」と共に起している例であるが, 対応する韓国語訳は, 「여간yeogan」と否定表現「어려운 일이 아니다(難しいことではない)」が共に起し, 「相手に自分の気持ちを誤り

なく使えることはとても難しい」ということを表している。例48 a)も例47)と同様で, 否定表現「~지 않다(…ではない, …くない)」と共に起し, 肯定的な意味「とても忙しい, 非常に忙しい」ことを表す。

- 47) 多分, 家人が母親に寝込まれては困る, 早く治るように大事にして寝なさいと言ってある言葉に, 幼い魂が何かを感じたのだろう。感じたにしてもこのように, 相手に自分の気持ちを誤りなく伝えるということは, なかなかできない。(生きる) 그렇다 하더라도 상대방에게 자기 기분을 어김없이 전한다는 것은 여간 어려운 일이 아니다.

- 48 a) 여간 바쁘지 않다. 忙しいなんてもんじゃ ない (非常に忙しい) (朝鮮語辞典: 1282)

- 48 b) *여간 바쁘다. (訳：なかなか忙しい)

以上, 「なかなか」に対応する語で頻度の高い「꽤kkwae」, 「상당히sangdanghi」, 「좀처럼jomcheoleom」, 「여간yeogan」の4語を中心に見てきた。「なかなか」と「꽤kkwae」, 「상당히sangdanghi」, 「좀처럼jomcheoleom」は, いずれも名詞述語との共起で制限が見られる。例49 a)の「美人」という語は人の属性を表しており, 修飾においては, 普通「独身の美人」「すごい美人」「快活な美人」などのような連体修飾の形を取る。品詞は名詞的であるが, 意味的には状態性が認められる。「美人」という語は, 話し手の観点(評価)によって様々な程度差を有し, 或る側面(美しさ)を取り立てて言う語である。例49 b)の「学生」という語は「美人」という語とは異なり, 話し手の観点(評価)による程度の差を表さない語である。つまり, 「なかなか」と「꽤kkwae」, 「상당히sangdanghi」

は、話し手の観点(評価)によって様々な差を見せる「美人」のような語とは共起可能であるが、話し手が評価できる程度の領域のない「学生」のような語とは共起不可である。例49c)は、「美人」が一般には好ましい属性を表す語であるため、事態に対する話し手の否定的な態度を表す「좀처럼 미인이다」とはなじまないため、不自然な表現になる。

49 a) 그녀는 꽤/상당히 미인이다.

(訳: 彼女はなかなか/かなり/相当に美人である)

49 b) * 그녀는 꽤/상당히 학생이다.

(訳: *彼女はなかなか/かなり/相当に学生である)

49 c) * 좀처럼 미인이 아니다.

(訳: *なかなか美人ではない)

「なかなか」が名詞と共起する場合、「꽤 kkwae」(6例)、「상당히 sangdanghi」(6例)、「굉장히 goengjanghi」(2例)、この他に「보통-아니아 (普通ではない)」「아주 뛰어난 (とても優れた)」などの表現と対応している。いずれも、話し手が評価ができる程度の領域を持ち、普通以上であることを意味する表現である。

3.3.2 意味・用法

この節では、3.3.1で考察した、「なかなか」の意味・用法別に韓国語副詞の対応様相について見ることにする。

まず、「ある事件・事態が起こる蓋然性を表す。話し手の予想や期待と実状を比べ、話し手が願う事態・状況の実現・実行が容易でない場合を表す。その実現・実行に至るには何らかの困難を伴い、すぐにはそのような状態に達

しないことを表す。実状と予想・期待との不一致や不整合の場合、マイナス評価として働く。」という用法は約159例ほど見られたが、話し手がある事態の発生する確率が低いと判断した場合に用いられ、事態が話し手の意図や予想通り容易には起きないことを表す「좀처럼 jomcheoleom」との対応が82例で著しかった。続いて「ちょっとやそつでは…ない」を表す「여간 (해서 (는)) yeogan (haeseo (neun))」との対応が14例見られた。その他にも、「満足以、十分に」を意味する「잘 jal」との共起が6例見られた。例50)は、「指輪がうまくはまる」ことを話し手が願っているが、それが実現されないことを表しており、「なかなか」と「잘 jal」とが対応している。

50) 夢を見た。ダイヤの指輪だ。そうだ。私はレイの事件のどさくさでまだボブから指輪をもらっていない。レイは、いつも私の邪魔をする。夢のなかでボブは私の薬指に指輪をはめようとする。なかなかはまらない。(アトランタ)

그런데 웬지 잘 맞지가 않는다.

次に、「ある事態の状態が含む程度性が普通以上であること、予想や期待を上回ることを表す。ある行為の結果としての状態の完成度の高さに対する評価を表し、予想・期待以上にいい場合はプラス評価につながり、予想・期待以上に悪い場合はマイナス評価につながる。」という用法は、約107例が見られた。この意味・用法では、「꽤 kkwae」(17例)、「상당히 sangdanghi」(15例)、「아주 aju」(8例)などが「なかなか」と対応している。例51)は、「なかなか」が「아주 aju」は「非常に、たいへん」の意味で、スタンドのできばえが格別に素晴ら

しい、予想以上に上出来であることを意味している。

51) 腕と足と頭は包帯で隠されているが、胴体だけは裸のままに細かな筆づかいで肉体の細部が再現されていた。ベッドの横には点滴スタンドもついている。なかなか見事な出来だった。(4 teen)

침대 옆에는 점적 스탠드가 서 있다. 아주 잘 만들어진 것이다.

4. おわりに

以上、「なかなか」の共起関係や、翻訳書においてどのような韓国語副詞と対応しているかについてみた。その結果、共起する用言によって「なかなか」の対応表現が多様に見られることがわかった。〈表2〉は、日・韓両語の共起関係についてまとめたものである。日・韓両語は形容(動)詞述語とは共起しやすいが、動詞述語では、動詞の性質による制限が見られる。名詞述語も、名詞の性質による制限がある。状

態性副詞「よく、上手に、大きく」を用いることにより、程度性を有するようになり、動詞のみでは程度を表さないが、状態性の副詞と一緒に使うことにより動詞述語との共起が可能になる場合がある。「여간yeogan」は、述語用法では「여간아니다(普通ではない)」という慣用句的に用いられる。

また、意味・用法別の日・韓両語の対応については、まず「ある事件・事態が起こる蓋然性を表す」用法では否定表現を伴う場合に偏りがあり、「좀처림jomcheoleom」「여간(해서(는))yeogan(haeseo(neun))」「잘jal」との対応が多く見られた。次に、「ある事態の状態が含む程度性が普通以上であること、予想や期待を上回ることを表す」用法では、肯定表現を伴う場合と名詞を修飾する場合に偏りが見られた。この意味・用法では、「꽤kkwae」「상당히sangdanghi」「아주aju」など、従来程度副詞とされる語との対応が目立った。

〈表2〉共起関係による類似点・相違点 (○は共起可, △は条件により共起可, ×は共起不可を示す)

副詞 共起関係	なかなか	꽤 kkwae	상당히 sangdanghi	좀처림 jomcheoreo	여간(해서(는)) yeogan(haeseo(neun))
形容(動)詞述語	○(主に肯定表現を伴う場合)	○(主に)	○(主に)	○	○(主に)
動詞述語	○(主に否定表現と伴う場合)	△	△	○(主に)	○
名詞述語	△	△	△	×	△
状態性副詞	○	○	○	○	○
~의(의ui)	○	×	×	×	×
述語用法	○	×	×	×	○

注

- 引用の際には、該当する副詞に下線を付し、説明に関わる所には点線を付した。そして非文(文法的に可能でない文、または文法的に可能であっても実際の発話に用いにくい文)を挙げる際には文頭に*印を付す。括弧{ }内の副詞は筆者が付け加えたものである。
- 工藤(1983:197)では、「程度副詞は、陳述的に肯定・平叙の叙法と関わって評価性をもちつつ、事柄的には形容詞と組み合わせさせて程度の限定性をもつ、という二重性格のものとして位置づけられる」としている。
- 渡辺(1990)は、程度副詞らしい程度副詞は相対的狀態性概念の語を修飾する副用語に範囲を限定し、計量構文「Xは-Aだ」と比較構文「XはYより-Aだ」とのいずれかに立つかによって「発見系」と「比較系」に分ける。これをさらに「評価性」の有無により「発見系・非評価系(とても類)>>発見系・評価系(結構類)>>比較系・非評価系(もっと類)>>比較系・評価系(多少類)>」の形で体系づける。とても類; はなはだ, すこぶる, たいへん, きわめて, ひじょうに, ずいぶん
結構類; なかなか, わりに, ばかに, やけに
多少類; すこし, ちょっと, やや, いささか, かなり
もっと類; ずっと, よほど, いっそう, はるかに, いちだんと
- 佐野(1997)は、「の」を介して名詞を修飾する程度副詞「かなり」「なかなか」「相当」に注目し、程度副詞と共に起する名詞を次のように分類し、その性質について述べている。
①「の」を介さずに程度副詞と共に起する名詞: 相対的な広がりを持つ時空間の名詞や数量を表す名詞
②「の」を介しても介さなくても程度副詞と共に起する名詞: 形容詞的特徴をもつ名詞
③「の」を介してのみ程度副詞と共に起する名詞: ①②以外の名詞すべてである。
- 詳しくは、森田・松木(1989)の236ページを参照されたい。
- 服部(1994)でも程度副詞としての用法と否定表現を伴う用法との連続性について述べている。
- 韓国語に対するローマ字表記は韓国文化観光部公示2000-8号(2000年7月7日)に従う。
- 副詞「꽤kkwae」は、収集した用例では「꽤(나)kkwae(na)」の形で用いられる。「꽤(나)kkwae(na)」は、副詞「꽤kkwae」に強調の意味を表す特殊助詞「나na」が付いた語である。特殊助詞「나na」は日本語の「も」の意味と対応する。本稿では、特に必要がない限り「꽤(나)kkwae(na)」も「꽤kkwae」で代表して記することにする。
- 「상당히sangdanghi」は、「少なくとも」という程度の意味を持つ「상당하다(相当だ, かなりだ)」に、副詞化接尾辞「이」が結合して転成した副詞である。
- 「非対応」で副詞が省略されたものは、用例ではφによって示し、仮に副詞がある場合の位置に置いた。当該部分が翻訳本で削除された場合は、〈表1〉には反映していない。削除された部分は、肯定表現を伴う場合は3例、否定表現を伴う場合は7例見られた。
- 「좀체(로)jomche(lo)」は、「좀처럼jomcheoleom」の変異形である。
- 日・韓両言語の副詞について、その先行研究における立場別に〈表3〉にまとめた。参考文献については、紙数の関係で省略させていただきたい。
- 韓国語に対する日本語訳は『朝鮮語辞典』(1993), 『JPIニューミレニアム日韓辞典』(1999)を参照した。
- 韓国語副詞の共起関係を調べる際、本稿で用いた資料以外にKAIST Concordance Program(韓国語用例抽出プログラム(<http://gensum.kaist.ac.kr/kcp/>))を使用した。
- 用例提示の際には、原文を先に、訳文を後につける。なお用例は、文脈理解に必要な原文の方を長くとして、訳文の方は必要部分だけを表示する。
- 副詞「여간yeogan」と「여간해서(는)yeoganhaeseo(neun)」は、殆んど同じ共起関係を見せるが、a), b)のように、名詞述語との共起において違いをみせる。副詞「여간yeogan」は名詞述語と共に起すが、「여간해서(는)yeoganhaeseo(neun)」は名詞述語との共起が不可能である。
a) 여간 미인이 아니다. (訳: なかなか美人である)
b) *여간해서(는) 미인이 아니다. (訳: なかなか美人である)

〈表3〉

なかなか	山田孝雄, 川端善明: 陳述副詞(否定)	中右 実: 命題内副詞(強意・程度の副詞)	森山卓郎, 渡辺 実, 林奈緒子: 程度副詞
꽤(나)kkwae(na)	李周行, 孫男翼: 程度副詞	徐正洙: 一般程度副詞	鄭喆柱: 普通程度副詞
상당히 sangdanghi	李周行: 程度副詞	徐正洙: 一般程度副詞	鄭喆柱: 普通程度副詞
좀처럼 jomcheoleom / 좀체(로) jomche(lo)	徐正洙: 特殊程度副詞	孫男翼, 金錫得: 否定の叙法副詞	Im Yoojong, Koo Jongnam, 全炳快: 否定極性語
여간(해서(는)) yeogan(haeseo(neun))	Suh Sangkyu: 程度副詞	孫男翼: 否定の叙法副詞	Im Yoojong, Koo Jongnam, 全炳快: 否定極性語

◇参考文献

- 浅野百合子 (1984) 「程度副詞の分析—ずいぶん・だいふ・なかなか・相当・かなり」『日本語教育』52号, 日本語教育学会
- 川端善明 (1983) 「副詞の条件」『副用語の研究』明治書院
- 工藤 浩 (1983) 「程度副詞をめぐって」『副用語の研究』明治書院
- (2000) 「副詞と文の陳述的なタイプ」『日本語の文法3 モダリティ』岩波書店
- 工藤真由美 (1999) 「否定と呼応する副詞をめぐって—実態調査から—」『紀要』39, 大阪大学文学部
- (2000) 「否定の表現」『時・否定と取り立て』岩波書店
- 小池 康 (1998) 「副詞—語文に関する意味と自然さの計量的研究」, 『日本語と日本文学』27, 筑波大学日本語日本文学会
- 国立国語研究所 (1972) 『形容詞の意味・用法の記述的研究』秀英出版
- 佐野由紀子 (1997) 「程度副詞の名詞修飾について」『大阪大学日本学報』第16号, 大阪大学文学部日本学研究室
- 服部 匡 (1994) 「副詞「なかなか」の意味用法の分析」『言語学研究』13号, 京都大学
- 林奈緒子 (1996) 「意味素性による程度副詞の記述」『筑波応用言語学研究』3, 筑波大学大学院博士課程人文社会科学部研究科文芸・言語専攻応用言語学領域
- 飛田良文・浅田秀子 (1994) 『現代副詞用法辞典』東京堂出版
- 水谷 修・水谷信子 (1989) 『外国人の疑問に答える日本語ノート3—ことばと相互理解—』株式会社ジャパンタイムズ
- 森田良行 (1998) 『基礎日本語辞典』角川書店
- (2006) 『話者の視点がつくる日本語』ひつじ書房
- 森田良行・松木正恵 (1989) 『日本語表現文型用例中心・複合辞の意味と用法』アルク
- 森山卓郎 (1985) 「程度副詞と動詞句」『京都教育大学紀要人文・社会』66号, 京都教育大学
- 渡辺 実 (1990) 「程度副詞の体系」『上智大学国文学論集』23, 上智大学
- (1991) 「「わがこと・ひとごと」の観点と文法論」『国語学』165集, 国語学会
- 徐正洙 (1975) 「国語副詞語類の構文論的研究」『現代国語文法』, 계명대학교출판부
- Im Yoojong (2007) 「否定表現과 呼応하는 副詞의 使用様相과 韓國語 教育」『한민족 문화연구』第20輯, 한민족문화학회
- 孫男翼 (1995) 『国語 副詞 研究』박이정출판사
- 洪思満 (2002) 「国語 程度副詞의 下位分類」『어문론총』第36輯, 경북어문학회
- 崔洪烈 (1997) 「程度副詞 類義語의 統辭・意味論的研究」中央大学校博士論文
- 小学館・韓国金星出版社編集 (1993) 『朝鮮語辞典』小学館
- 조희철 (1999) 『JPI 뉴-미레니엄 日韓辞典』進門出版社
- 延世大学校言語情報開発研究員編 (1998) 『延世韓國語辞典』斗山東亞
- 国立国語研究院 『標準国語大辞典』(1999) 斗山東亞

◇用例の出典

(引用に当たっては下線の文字によって示した)

- 浅田次郎 (2000) 『天国までの百マイル』朝日文庫이선희
- 訳 (1998) 『친국까지100마일』바움출판사/石田衣良 (2003) 『4 teen』新潮社양역관訳 (2004) 『4 teen』작가정신/宇田伸生 (1998) 『아트・アトランタ』近代文芸社이윤정
- 訳 (2001) 『애틀란타에서』한일문화교류센터/吉本ばなな (1991) 『キッチン』福武書店김남주訳 (1999) 『키친』민음사/村上春樹 (1991) 『村上春樹全作品⑦ダンス・ダンス・ダンス』講談社이윤정訳 (1989) 『댄스 댄스 댄스 1・2』문학사상사/唯川 恵 (2001) 『肩越しの恋人』マガジンハウス김남주訳 (2002) 『어깨너머의연인』신영미디어/綿矢りさ (2003) 『蹴りたい背中』河出書房新社정유리訳 (2004) 『말로차우고싶은등짝』도서출판황매/桐野夏生 (1999) 『柔らかな頬』講談社권남희訳 (2000) 『부드러운 볼 1・2』산성미디어/角田光代 (2005) 『対岸の彼女』文藝春秋최선일訳 (2005) 『대안의 그녀』지식여행/東野圭吾 (2005) 『容疑者X의 献身』文藝春秋양역관訳 (2006) 『용의자 X의 헌신』현대문학/三浦綾子 (1991) 『生きること 思うこと わたしの信仰雑話』(一九七二年) 『三浦綾子全集第十五卷』主婦の友社진웅기訳 (1990) 『살며생각하며』범우사/佐橋慶女 (1984) 『おじいさんの台所』文藝春秋엄은옥訳 (2008) 『아버지의부엌』지향/塩野七生 (1972) 『イタリアからの手紙』新潮社이현진訳 (2005) 『이탈리아에서 보내온 편지 1』한길사/さとうまきこ (2004) 『4つの初めての物語』ポプラ社고향옥訳 (2007) 『처음 자전거를 흥친 날』웅진책마을/森絵都 (1991) 『リズム』講談社고향옥訳 (2007) 『리듬』웅진책크빅/寺山修司 (1975) 『書を捨てよ, 町へ出よう』角川書店김성기訳 (2005) 『책을 버리고 거리로 나가자』이마고/辻由美 (1995) 『世界の翻訳家たち—異文化接触の最前線を語る—』新評論송태옥訳 (2005) 『번역과번역 가들』열린책들/佐藤多佳子 (1997) 『이그アナくんのおじゃまな毎日』偕成社홍창미訳 (2006) 『이구나나 야다몽』수원재/池端俊策 (1999) 『烏鯉』『テレビドラマ代表作選集』日本脚本家連盟나윤訳 (2001) 『烏鯉』『검은잉어』시나리오 친구들/井上由美子 (1995) 『天上の青』『テレビドラマ代表作選集』日本脚本家連盟나윤訳 (1999) 『천상의푸르름』『일본드라마 걸작선 또 하나의 심장』시나리오 친구들/岩間芳樹, 降旗康男 (1999) 『鉄道員』『シナリオ』99-7, シナリオ作家協会나윤訳 (2000) 『철도원』『철도원』시나리오 친구들/筒井ともみ (1997) 『失樂園』『シナリオ』シナリオ作家協会나윤訳 (1999) 『Shall We 댄스?』『실락원』시나리오 친구들/新和男 (1996) 『FOCUS』『シナリオ』シナリオ作家協会나윤訳 (2000) 『Focus』『나라야마부시코』시나리오 친구들/岩間芳樹 (1996) 『光柱』『テレビドラマ代表作選』日本脚本家連盟나윤訳 (2000) 『光柱』『철도원』시나리오 친구들/長尾直樹 (1996) 『鉄塔, 武蔵野線』『鉄塔, 武蔵野線』製作委員会나윤訳 (2000)

「철담무사시노선」『철도원』 시나리오 친구들/筒井とおみ (1998) 「もう一つの心臓」『テレビドラマ代表作選集1998年版』日本脚本連盟나운 옮김 (1999) 『또 하나의 심장』 시나리오 친구들/鎌田敏夫 (1998) 「青い花火」『シナリオマガジンド라마』234-12映人社/周防正行脚本(1997)「Shall We ダンス?」『96年鑑代表シナリオ集』映人社나운訳 (1999) 『Shall We 댄스?』「SHALL WE 댄스」 시나리오 친구들/鎌下辰男 (2003) 「ルート64」『季刊せりふの時代』vol26, 小学館이시카와 주리訳 (2003) 「루트64-시작은 끝, 끝은 시작」『현대일본회극집 1』연극과 인간/柳美里 (1993) 「魚の祭り」『ヒネミ/魚の祭り』白水社정수진訳 (1994) 「물고기축제」『유미리회극집』예음박태규訳 (2003) 히네미 『현대일본회극집 1』연극과 인간/高堂要 (2000) 「おつむてんてん」『酔っぱらいマルメラードフ: 高堂要戯曲集』花神社鄭鐘和訳 (2007) 「오쯔무텐텐」『다카도 가나메 회극선집』연극과인간/坂手洋二 (2001) 『天皇と接吻』カモミール社이혜정訳 (2003) 「천황과입맞춤」『현대일본회극집 1』연극과인간/鄭義信 (2000) 「杏仁豆腐のココロ」『せりふの時代』Vol.26小学館이혜정訳 (2005) 「행인두부의 마음」『현대일본회극집 2』연극과 인간/永井愛 (2001) 『こんにちは, 母さん』白水社박혜성訳 「안녕, 엄마」『현대일본회극집 1』연극과 인간//堺屋太一 (2003) 『東大講義録文明を解く』講談社최현숙訳 (2004) 『동경대 강의록』동양문고/読売新聞社 (1993) 『20世紀のドラマ 3 現代史再訪』東京書籍/東京書籍/読売新聞社 (1992) 『20世紀のドラマ 2 現代史再訪』東京書籍/読売新聞社 (1992) 『20世紀のドラマ 1 現代史再訪』東京書籍 (이종주訳 (1997) 『발로 쓴 현대사특종35』『살아있는 현대사특종36』『감춰진 현대사특종38』새로운사람들 / 平田オリザ (1993) 『ソウル市民: 日韓対訳版』青年団